

特別講義

小規模コーヒー農家の暮らし ～フィリピン・サガダ町の人々～

100を超える民族からなるといわれるフィリピン。中でも特有の文化を育んできた先住民イゴロットの人々が暮らすサガダ町では、高品質のアラビカコーヒーが生産されています。

しかし、コーヒー農家の多くは小規模で、十分な収入が得られないものが多く、その存続が危ぶまれています。より持続可能な生計を実現するためには何が必要か。その改善プロジェクトに取り組む大杉さんに話を伺います。

※本特別講義は文化人類学、国際協力論のジョイント講義ですが、受講生以外の聴講も歓迎します!!

日時：12月10日(月)4限

場所：402教室

講師：大杉 英毅さん

(広島市立大学大学院国際学研究科修士課程修了。日本財団 APS 研究員、国連平和大学大学院/アテネオデマニラ大学大学院在学中。サステイナビリティ・アジア共同創始者)



参考：是非以下の WEB を事前にご覧下さい。

<Sustainability Asia>

Web: <https://sustainability-asia-org.webnode.com>

FB: <https://www.facebook.com/SustainabilityAsia/>

<日本財団 APSプログラム>

Web: <https://www.nippon-foundation.or.jp/news/articles/2018/14.html>

本件に関するお問合せは 国際学部 吉田まで (hyoshida@hiroshima-cu.ac.jp)